

病院統合再編

病院統合再編整備基本計画を策定しました

● お問い合わせ／市企画調整課企画調整係 ☎26・5704

本紙4月16日号でお知らせしたとおり3月28日の第4回山形県・酒田市病院統合再編協議会において「山形県・酒田市病院統合再編整備基本計画」が策定されました。

この計画は、平成19年3月に協議会で策定された病院統合再編整備基本構想をもとに、医療機能や施設整備、移行期の診療体制など、具体的な統合再編の整備計画を策定したものです。

概要

理念と基本方向

「安心、信頼、高度」の医療提供
「保健、医療、福祉」の地域連携



日本海総合病院改築・改修イメージ図

平成23年度以降の病院機能

	日本海総合病院	酒田医療センター
規模	648床程度 (528床+120床程度)	110床程度
診療科	(22科)内科、循環器科、消化器科、神経科・精神科、神経内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理科	内科、リハビリテーション科
施設基準	一般病棟	一般病棟
特殊診療機能	ICU、HCU(CCU)、周産期施設、未熟児室、感染症病棟、放射線治療、外来がん化学療法センター、セカンドオピニオン外来、緩和ケア、人工透析(急性期)、人間ドック、地域医療室(地域連携・在宅療養支援など)	総合リハビリテーション、地域医療室(地域連携・在宅療養支援など)
併設診療機能	救命救急センター(新型)	
その他	病院間移動用ワゴン車 院内保育所(24時間対応)	病院間移動用ワゴン車

医療機能の統合再編の考え方

【日本海総合病院の機能】

- ・528床から648床程度に増
- ・救命救急センター(新型)を整備
- ・急性期医療 高度医療などを集約
- ・庄内地域の中核病院としての役割を担う
- ・政策医療(がん医療、災害医療、感染症医療など)を実施

管理運営の基本的考え方

- 【酒田医療センターの機能】
- ・400床から110床程度に減
- ・回復期や亜急性期の医療を提供
- ・在宅復帰の支援

運営主体および経営形態/地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構(一般地方独立行政法人)運営の方法/本市と山形県が運

新たな施設整備

「医療機能の統合再編の考え方」に基づき、必要な施設を整備します。整備期間は、日本海総合病院平成19年度〜22年度、酒田医療センター平成20年度〜24年度です。

移行計画(平成20年度〜22年度)

移行期においても統合の効果を医療機能の向上に反映させるとともに、医師数が少ない診療科などの負担軽減を図るため、両病院の医療機能の集約をできる限り行います。